



平成19年10月23日

会 社 名 株式会社 栗本鐵工所
 コード番号 5602 (東証・大証第一部)
 代 表 者 代表取締役社長 横内 誠三
 問 合 せ 先 コーポレートセンター
 経理ユニット長 小島 眞也
 TEL (06)6538-7724

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成19年5月18日に公表しました平成20年3月期(平成19年4月1日～平成20年3月31日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

- 記 -

1. 連結業績予想数値の修正

(1) 平成20年3月期中間連結業績予想数値の修正(平成19年4月1日～平成19年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益	1株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A) (平成19年5月18日発表)	64,000	△1,000	△1,500	△1,000	△7.84
今回修正予想(B)	70,500	△1,500	△2,000	△800	△6.27
増減額(B-A)	6,500	△500	△500	200	
増減率(%)	10.2	-	-	-	
前年中間期実績(平成19年3月中間期)	56,034	△3,358	△3,885	△2,828	△22.16

(2) 平成20年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A) (平成19年5月18日発表)	164,000	2,200	1,200	1,000	7.84
今回修正予想(B)	168,000	2,200	1,200	1,000	7.84
増減額(B-A)	4,000	0	0	0	
増減率(%)	2.4	0.0	0.0	0.0	
前期実績(平成19年3月期)	151,371	1,070	33	557	4.37

2. 個別業績予想数値の修正

(1) 平成20年3月期中間個別業績予想数値の修正(平成19年4月1日～平成19年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益	1株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A) (平成19年5月18日発表)	31,000	△1,000	△900	△600	△4.70
今回修正予想(B)	30,900	△1,900	△1,600	△500	△3.92
増減額(B-A)	△100	△900	△700	100	
増減率(%)	△0.3	-	-	-	
前年中間期実績(平成19年3月中間期)	30,091	△2,214	△1,683	△13,282	△104.07

(2) 平成20年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A) (平成19年5月18日発表)	83,000	400	200	500	3.92
今回修正予想(B)	76,000	400	200	500	3.92
増減額(B-A)	△7,000	0	0	0	
増減率(%)	△8.4	0.0	0.0	0.0	
前期実績(平成19年3月期)	78,592	464	1,138	△10,353	△81.12

3. 修正の理由

a. 中間連結業績

当中間期の連結業績につきましては、売上高におきまして、子会社の建設部門の売上高が当初予想を上回ったことならびに新規連結会社を加わったことにより6,500百万円の増収となる見込みであります。個別業績の修正により当初発表予想値に対しまして、営業利益、経常利益でそれぞれ500百万円、500百万円の減益、中間純利益は200百万円の改善となる見込みであります。

b. 中間個別業績

当中間期の個別業績につきましては、バルブ部門におきまして、出荷量の減少、競争激化等による主力製品の販売価格が低下したことにより減収、減益となる見込みであります。

鉄構部門におきましても、低価格入札物件による厳しい受注価格に加え、ステンレス鋼をはじめとする原材料の高騰による製造原価の上昇が見込まれた結果、下期以降に発生見込の原価について上期に引当金を計上することにより減益の見込みであります。

また、環境部門におきましては、一部物件において計画変更による設計見直し等により工期が延長になることによる減収見込みに加え、大型ごみ処理プラントにおいて改良工事にもなう追加費用の発生により減益となる見込みであります。

以上により、当中間期の業績は、営業利益、経常利益はそれぞれ、900百万円、700百万円の減益、中間純利益におきましては遊休資産の売却契約締結により繰延税金資産の計上をおこなった結果、100百万円の改善となる見込みであります。

4. 通期における連結ならびに個別業績の見込

個別業績の通期売上高につきましては、鉄構部門におきまして平成19年9月25日に開示いたしました橋梁部門の会社分割により売上高が個別から連結に移行することにともない1,900百万円の減収となる見込みであります。

また、環境部門におきましても、計画変更などによる工事の延期が見込まれ、これにより4,600百万円の減収の見込みであります。

中間連結業績ならびに個別連結業績につきましては営業利益、経常利益ともに減益となりましたが今後、一層のコストダウン、生産効率の向上並びに総経費の削減等の諸施策を実現することにより収益の確保につとめてまいります。

したがいまして、通期における連結ならびに個別業績につきましては、売上高におきましては修正いたしますが、営業利益、経常利益、当期純利益における修正はありません。

以 上

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、最終の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。